

到達度評価(ホテル業)について

一部の職種については、ジョブ・カードに対応するものとして、職種ごとに、学習者の評価のための「モデル評価シート」や、能力判定の目安表(評価ガイドライン)が作成されている

●評価ガイドライン「ホテル業」の例(一部抜粋)

能力ユニット	職務遂行のための基準	判定ガイドライン	
		A	B
ホスピタリティの実践	日頃から笑顔で、心を込めた接客を実践している。	○いつも誠意笑顔でお客様に接していた ○お客様から好感を得るような対応であった	○概ね笑顔で、心を込めた接客を行っていた ○接客対応において、特段大きな問題行動はなかった
	お客様に対し丁寧な言葉遣いで対応している。	○いつも丁寧な言葉遣いで対応していた ○きびきびした対応であった	○おおむね丁寧な言葉遣いで対応していた ○不適切な言葉遣いをすることは稀で、実務上特段の支障はなかった
お荷物の預かり(クローク)	クロークルームの整理・整頓を決められたとおりにきちんと行っている。	○クロークルームの整理・整頓を行う意味を理解し、的確に対応していた ○クロークルームの整理・整頓に関する実務は正確・迅速だった	○クロークルームの整理・整頓についての理解が不十分だった ○整理・整頓ができず、日常の業務遂行に支障をきたしていた
	預かりや返却の際にお客様を長時間お待たせしないよう、立ち動いている。	○預かりや返却の際、お客様を長時間お待たせしないよう、きびきびとした態度でスピーディに立ち動いていた ○品物のお預かり、返却に関する実務は正確・迅速だった	○預かりや返却の際、迅速な行動に努めていた ○実務上特段の支障はなかった
お客様のご案内(ベル)	お客様に対し、館内設備や非常口、冷暖房装置の使い方など必要事項を漏れなく伝達している。	○お客様に対して館内設備や非常口、冷暖房装置の使い方など必要事項を常に正確に伝達していた ○お客様からの質問にも的確に回答できていた	○設備等についての理解が不十分だった ○誤った情報をお客様に伝えることが何度かあり、支障をきたしていた
	お客様からの要望等は、メモするなどして正確・確実に関係者に伝達している。	○お客様からの要望等は、いつもメモするなどして正確・確実に関係者に伝達していた ○業務は正確・迅速だった	○お客様からの要望等を関係者に伝達しないことが何度かあった ○日常の業務遂行に支障をきたしていた
困っているお客様に積極的に声をかけている。	困っているお客様に積極的に声をかけている。	○いつもまわりに気を配り、困っているお客様には自分から積極的に声をかけていた	○困っているお客様にはおおむね積極的に声をかけていた

A: 常にできている B: 大体できている C: 評価しない

(出典) 中央職業能力開発協会 モデル評価シート「ホテル業」及び判定目安表(評価ガイドライン)「ホテルサービス」より抜粋

到達度評価について(大学の例)

例えば、教員養成の分野においては、求められる能力を可視化したプロファイルシートや、多視点評価及び面接指導の活用等により、学生の教育実践力を育成する取組が実施されている

2006年度入学生用 目標参照シート (B領域)主専攻領域【言語教育専攻(英語教育コース)】

階層	英語教師に求められる教員力		授業科目名	質問項目	階層 4																		
	階層 1 0 の軸	階層 3			英会話初級	英会話中級	英会話上級	英作文初級	英作文中級	英作文上級	英語コミュニケーション実践演習	英語の語法・構造の理解	英語指導のための音声学	歴史的にみる英語の姿	英語状況と英語の美様	意味から考える英文法	構造から考える英文法	文学でたどる英米の歴史 一、二	作品の鑑賞と批評 一、二、三	英米文学特別講義	英米の精神文化と伝統	英語科教育法概説	
教育実践力	学校理解	英語科教育課程	中学校学習指導要領 (外国語編) の概要を理解していますか。	英会話初級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学習者理解	第二言語習得	第二言語習得についての概要を理解していますか。	英会話中級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語運用能力 (聞く・話す)	英語運用能力 (聞く・話す)	英語教員として十分な英語運用能力 (聞く・話す) を持っていますか。	英会話上級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教員基礎知識・技能	英語運用能力 (聞く・書く)	英語運用能力 (聞く・書く)	英語教員として十分な英語運用能力 (聞く・書く) を持っていますか。	英作文初級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英米文学	英米文学	既習の英米文学の内容について理解していますか。	英作文中級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語史	英語史	既習の英語史の内容について理解していますか。	英作文上級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語学	英語学	既習の英語学の内容について理解していますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語科教育学	英語科教育学	既習の英語科教育学の内容について理解していますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語科教材分析力	英語科教材分析力	英語科基礎知識技能を用いて、学習者の反応を想定しながら英語科の教材を分析することができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語科授業構想力	英語科授業構想力	単元計画に沿って英語科の授業を構想し、指導案としてまとめることができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語科授業展開力	英語科授業展開力	学習者との関係に基づいて、英語科の授業を展開することができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語科授業評価・反省	英語科授業評価・反省	観察した授業や自分の行った授業について、分析したり、反響的に評価することができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	英語科授業開発力	英語科授業開発力	学習者の実態をふまえて、英語科の授業で用いる手引きや教材を開発することができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対人関係力	リーダーシップ・協力	英語科協同実践研究	ALT などと同様に協同し、テーマを設定して教材や授業を開発することができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会参加	異文化理解	異文化理解に関する基本的な知識と態度を身につけていますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己深化力	コミュニケーション	論理的コミュニケーション	社会的な場面および研究の場面において、論理的に表現したり応答したりすることができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	探求力	問題意識・知識	学習者の発達や個性に応じて関わるすることができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教師像・倫理	リテラシー	英語科コンピュータリテラシー	自分の専門領域について、基本的な理解に基づいて、追求すべき問題をみつけることができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	教師像・倫理	英語科教師像	問題を解決するために、必要な資料を探査・調査することができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	教師像・倫理	英語科教師像	資料を解釈し、自分なりの理解を導くことができますか。	英語の語法・構造の理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(出典) 中央教育審議会教員の資質能力向上特別部会 (第3回) 高岡委員提出資料より抜粋

到達度評価について(専門学校の例)

例えば、理学療法士を目指す専門学校では、臨床実習の評価において、実習先の指導者が、「専門職としての基盤、資質、適性、心得」「治療の実践」等に関する到達度を評価している

札幌リハビリテーション専門学校 理学療法士科(4年課程) 臨床実習Ⅱ・Ⅲ(4年次)の評価表

Ⅰ 学ぶ姿勢、社会人としての資質

	S	A	B	C	D
1 時間等、約束を守ることができる。					
2 身だしなみや言葉遣いが適切である。					
3 礼儀をわきまえている。挨拶ができる。					
4 報告・連絡・相談が過不足なく行える。					
5 その場の状況に応じた適切な判断と行動が素早くできる。					
6 素直に聴ける。聞き入れることができる。					
7 指導されたことをその後の行動に反映させることができる。					
8 自分の意見を明確に述べることができる。					
9 書面での適切な記録と報告ができる。					
10 自発的に行動することができる。					
11 「知りたい」という意欲が感じられる(知的好奇心)。					
12 「やってみよう」という熱意が感じられる(行動面)。					
学生自己評価	指導者のコメント				

Ⅱ 専門職としての基盤、資質、適性、心得

	S	A	B	C	D
1 守秘義務を果たすことができる。					
2 専門職をめざす学生として節度をもって接することができる。					
3 医学的・専門的知識に基づいた観察をすることができる。					
4 有資格者の考え方や、言動を学びとる姿勢で観察をすることができる。					
5 専門用語を適切に使用して記録をすることができる。					
6 リスク管理をすることができる。					
7 課題遂行の手段と優先順位を適切に判断することができる。					
8 全体を俯瞰し、何をすべきなのか学術的に捉えることができる。					
学生自己評価	指導者のコメント				

Ⅲ 評価の実践

	S	A	B	C	D
1 カルテ等のデータから必要な情報を収集することができる。					
2 他部門や関係者から必要な情報を収集することができる。					
3 対象者本人に実施する評価項目を過不足なく選定することができる。					
4 選定した項目の実施計画を適切に立てることができる。					
5 評価計画に関する根拠を説明することができる。					
6 評価の進行に伴って計画を修正することができる。					
7 インフォームド・コンセントを適切に行うことができる。					
8 実施項目を適切な期間・時間で実施することができる。 <small>※精神障害・発達障害領域は評定除外可</small>					
9 実施項目を規定の方法で実施することができる。 <small>※精神障害・発達障害領域は評定除外可</small>					
10 実施方法を状況に合わせて変更することができる。					
学生自己評価	指導者のコメント				

Ⅳ 思考・判断

	S	A	B	C	D
1 得られた情報やデータを整理し、考察することができる。					
2 得られた情報やデータを関連付けて考察することができる。					
3 対象者の全体像(ICF等)をつかむことができる。					
4 阻害因子(問題点)や促進因子(利点)を把握することができる。					
5 解決すべき課題を把握することができる。					
6 妥当性のある治療目標を設定することができる。					
7 治療目標を達成するために必要である詳細な治療プログラム(頻度・所要時間・場面設定・使用用具等)を立案することができる。					
8 治療経過に応じて、治療計画を適切に変更・修正することができる。					
9 実施した治療の経過や結果の妥当性を検証することができる。					
学生自己評価	指導者のコメント				

V 治療の実践 (type A)

	S	A	B	C	D
1 治療についてインフォームド・コンセントを適切に行うことができる。					
2 自己の立案した治療計画に沿って、適切に治療を実施することができる。					
3 対象者の状態に即して、治療方法等を適切に変化させることができる。					

V 治療の実践 (type B)

	S	A	B	C	D
1 指導者の指示通りに治療を実施することができる。					
2 治療の体験(見学も含む)を通して対象者の状態と治療内容を結びつけられる。					
3 自己の体格(身長、手の大きさ、筋力等)を考慮して工夫し、指導された治療内容を再現することができる。					

学生自己評価

指導者のコメント

※ 太枠内は、臨床実務経験4年目以降の指導者が記入。
※ 実習終了時点の到達度を次の基準で評価。

S	できる、見守りできる。
A	助言により、到達した。
B	助言と指導により、到達した。
C	改善傾向はあるが、到達しない。
D	できない、改善しない。

(出典)

札幌リハビリテーション専門学校より情報提供

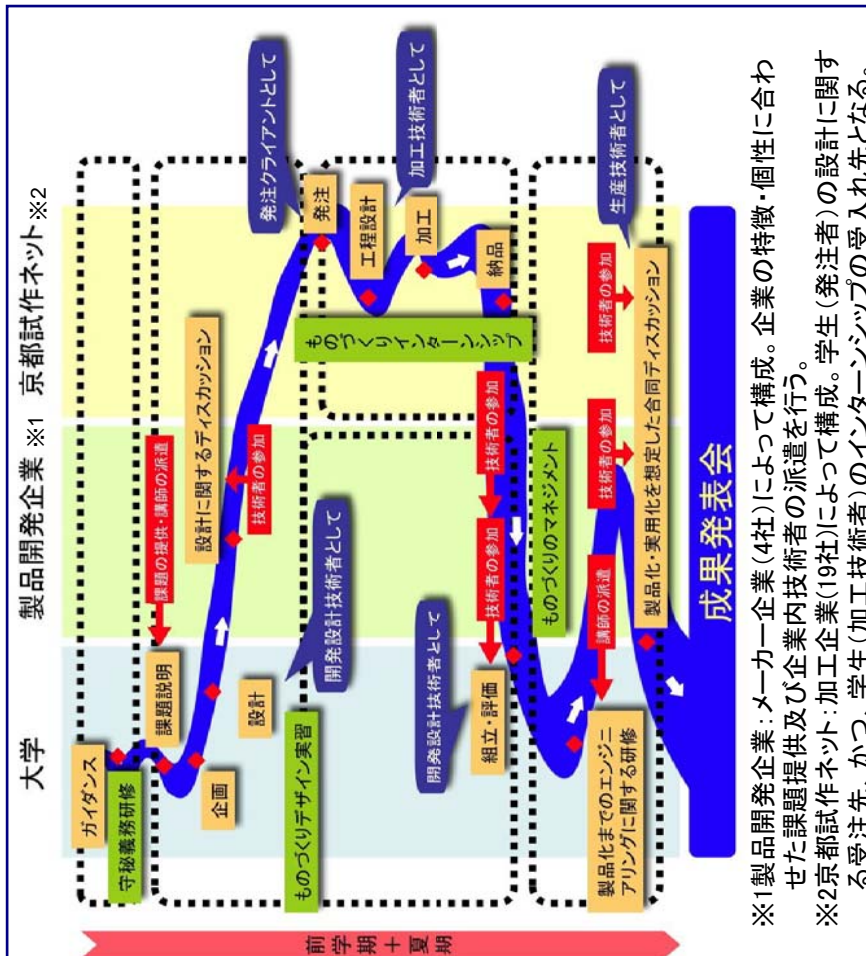
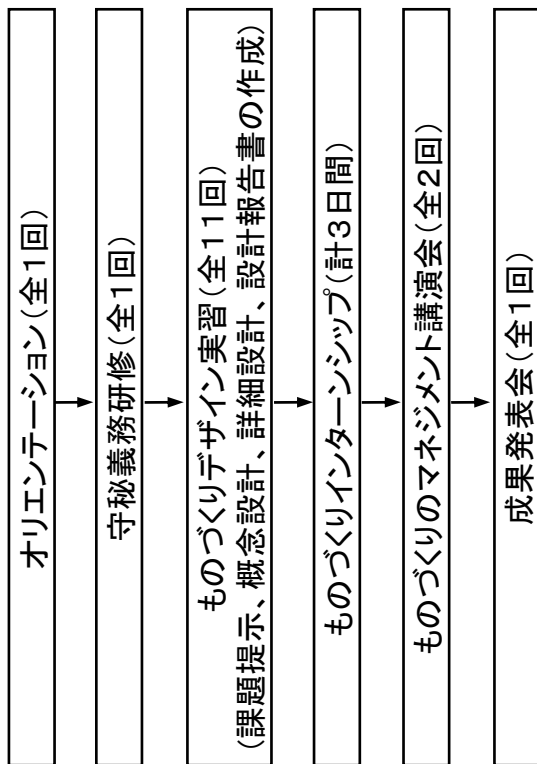
大学・短期大学における職業実践的な教育の事例について

ものづくりの一連のプロセスのうち、1つの断面で必要とされる工学的な能力を磨くだけでなく、プロセス全体を見通す「俯瞰的な視点」を育むため、プロセスの上流から下流までを追跡的に体験する、実践的な教育プログラムを実施

(例) 京都工芸繊維大学

●川下り方式インターンシッププログラム

全学の3年生を対象に開講される科目「産学連携ものづくり実践」(前期及び夏季)を大学における教育プログラムの中核とし、京阪地区のメーカー企業や、加工企業のネットワークとの密接な連携の下に行われる、インターンシップを含むものづくり実践教育プログラム。



※1 製品開発企業: メーカー企業(4社)によって構成。企業の特徴・個性に合わせた課題提供及び企業内技術者の派遣を行う。

※2 京都試作ネット: 加工企業(19社)によって構成。学生(発注者)の設計に関する受注先、かつ、学生(加工技術者)のインターンシップの受入れ先となる。

【プログラム実施に当たっての留意点】

- 学生関係(作業時間の確保、試験時期との関係、チーム内における学生ごとの負担の不均一、等への対策)
- 大学関係(企業担当者との指導法・連携法に関する綿密な打合せ、TAの活用法、学生の取組にどこまで指導するか、等への対策)
- 課題設定関係(特定の専攻分野の学生向けに偏らないテーマ選択、イメージする到達点の共有、課題の説明の詳細化、等への対策)

(出典) 京都工芸繊維大学報告書「川下り方式インターンシップによる産学連携ものづくり実践教育」

参考URL: <http://www.kit.ac.jp/01/kawakudari.html>

大学・短期大学における職業実践的な教育の事例について

大学と企業が教育目標を共有し、産業界の技術者が製品を開発する思想や一連のプロセスを教育に導入することで、産業界が求める人材の育成と、企業が持つ知識・ノウハウ等の技術伝承を行う仕組みを取り入れた教育を実施

(例) 金沢工業大学

●新しい形の夢考房プロジェクト

組成分野(金属・鍛造)プロジェクト



樹脂成型分野プロジェクト



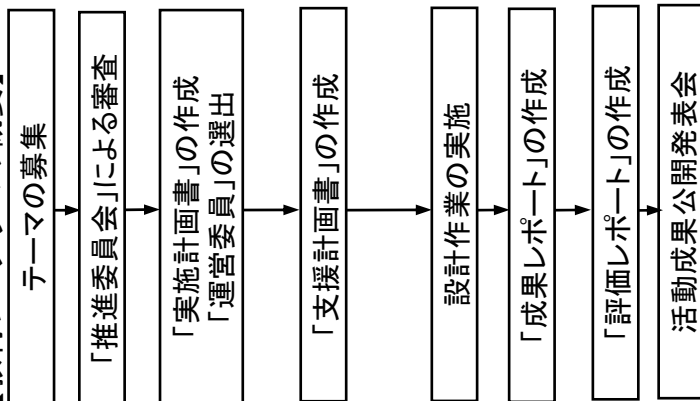
ソフトウェア分野プロジェクト



レーザ式センサ分野プロジェクト



【教育プログラムの概要】



学生からアイデアや夢、企業、教職員からものづくり技術者育成に資するテーマを募集。

テーマが要件を満たすかどうか「推進委員会(※1)」で協議・審査。

※1 教職員と連携企業の管理者・技術者が所属。「推進委員」「運営委員」等を設置し定期的に開催。

複数の学科・学年でチームを構成。技術分野ごとの班編成とそれぞれの責任者を決定。「実施計画書(※2)」を作成し、「推進委員会」に提出・発表。また、それぞれのテーマに対し、「運営委員(※3)」を選出。

※2 テーマに対する指標と目標値、活動スケジュール、予算、課題の明確化に向けた調査や取り組み技術の具体化等を策定。

※3 教職員と連携企業の管理者・技術者が所属。

「推進委員会」は、「実施計画書」を企業・教育の視点から評価し、学生チームにアドバイス。「運営委員会」は、「支援計画書(※4)」を作成。

※4 教育目標、技術分野、学生を企業に派遣する前の事前講習会の内容、実験・実習の場所や時期・時間数、企業派遣後に理論と実際に対する考察を行う事後講習会、評価方法等を取り決めた内容を記載。

学生チームは、「実施計画書」に基づき、主体的に設計作業を実施。この間、定期的に「運営委員」と意見交換を行い、教職員からの指導とともに、企業からノウハウやアドバイスの指導。

学生チームは、経緯・成果・経験・ノウハウ等を「成果レポート(※5)」としてまとめ「推進委員会」に提出。

※5 活動経緯、明らかになった事項、実験・実習の目的・方法・結果・考察等、企業で経験したことを可視化。

「運営委員」は、支援内容や学生の成果に対する評価をまとめた「評価レポート」を「推進委員会」に提出。

企業、自治体、保護者、大学関係者等を対象。活動プロセス、成果、予算等について説明し、様々な視点から評価。

(出典) 金沢工業大学「産学連携による実践的人材育成事業—ものづくり技術者育成—研究拠点形成費等補助金事業成果報告書

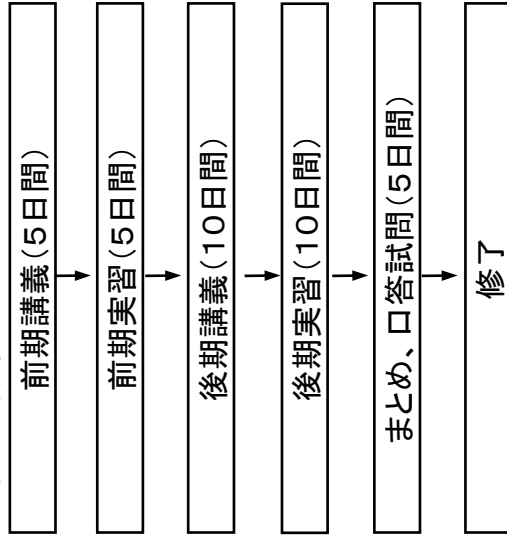
新しい形のプロジェクト型教育システムの開発と実践」 参考URL : http://www.kanazawa-it.ac.jp/yumekobo/new_shape/program.html

大学・短期大学における職業実践的な教育の事例について

小児医療チームの一員となる専門職（HPS（ホスピタル・プレイ・スペシャリスト）の育成を目指し、入院・通院する子どもとその家族のストレス・不安等を、「遊び」というツールを通じて解消する専門職養成プログラムを実施

(例) 静岡県立大学短期大学部

■ 取組の概要



■ プログラム対象者

- ① 健康な子どものかかわり経験のある者
- ② 児童福祉、児童教育、保育、小児看護など、子どもにかかわる関連領域での学びを修めた者
- ③ 病児・障がい児の療養環境に関心を持ち、その改善に努力する者

※主な受講者：保育士・看護師の資格保有者（現職者を含む）や、出産・育児を経験した者など。1クールにつき定員約15名（2クール／年）

(参考) HPS (ホスピタル・プレイ・スペシャリスト)とは

HPSは、病児の福祉を守るという視点から生まれた専門職であり、「遊び」をツールとして病児を支援し、小児医療チームの一員として他職種と協働して働く専門職。
現在、主に英国とオーストラリア、そしてニュージーランドの病院で活躍している。

- ・総時間数152時間(約3ヶ月)のプログラム
- ・英国ホスピタル・プレイ・スペシャリスト教育財団の協力の下、前期は国内講師による講義、後期は海外から招聘するHPS及び国内講師による講義を実施

【主な教育内容】

- ① 遊びの持つ力と医療施設・機関における遊びの活用
 - ② こどもの権利を守る医療の必要性
 - ③ ホスピタル・プレイ・スペシャリストの専門知識
 - ④ ホスピタル・プレイ・スペシャリストの専門技術
 - ⑤ 子どもにやさしい医療を実現するための方策
 - ⑥ ホスピタル・プレイ実習
- ・実習では、実際に病院や小児保健医療センター内での実践を行う

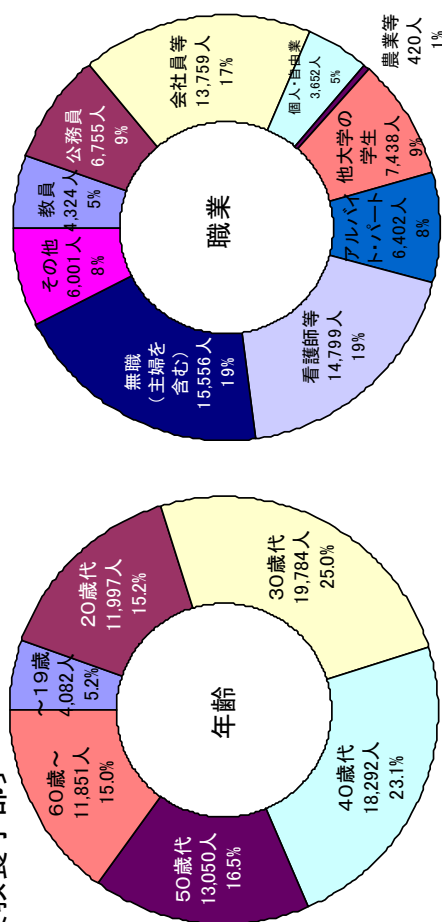
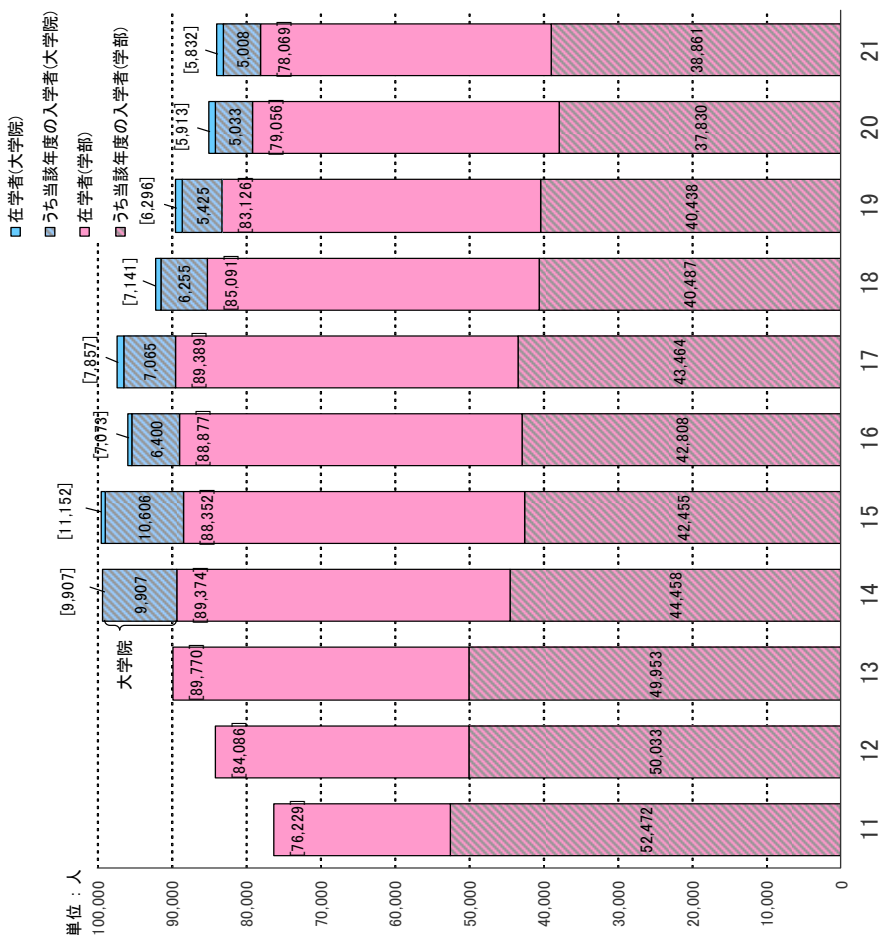
※養成講座修了者には、履修証明書及び、HPS資格認定書が交付される。

学校から社会・職業へ生活が移行した後の学習者に対する支援

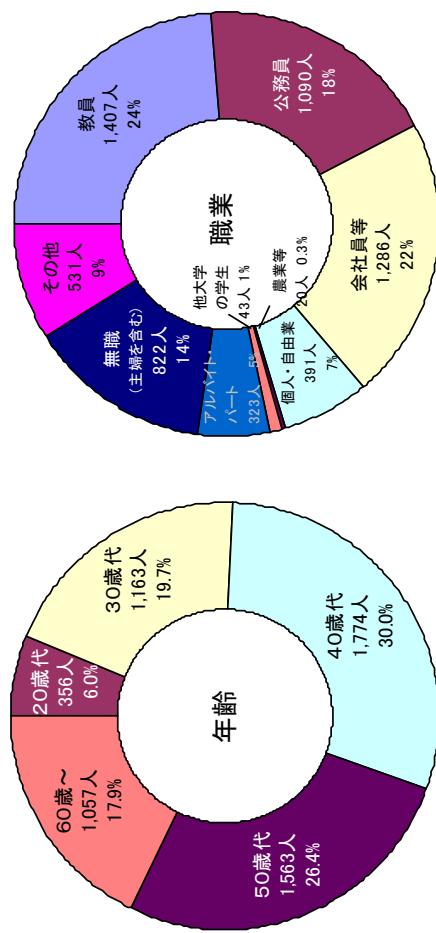
【放送大学】

国民にとって身近な放送メディアを活用し、社会人等に対する大学教育の機会の提供を目的として、昭和58年に放送大学が設置され、昭和60年4月から関東地域において授業を開始した。平成10年にはCS放送による全国放送を開始し、平成13年4月に大学院文化科学研究科が設置され、平成14年4月から学生受入れを行っている。(平成23年からは、BSデジタル放送による授業を開始予定)

○ 放送大学・大学院の入学者・在学者数の推移(毎年度2学期の数) ○ 学生の属性(平成20年度第2学期)
[教養学部]



[大学院文化科学研究科]



学校から社会・職業へ生活が移行した後の学習者に対する支援

【聖徳大学】

子育てから手の離れた女性や、保育士資格または幼稚園教諭免許状の取得者を対象に、実践的な短期集中講座を提供し、再就職やボランティア等の社会参加を支援する取組

○期間：合計22.5時間(全15回×1.5h)

○プログラム構成

大学の教員による理論的背景を持つ講義及び現場で保育を実践している保育関係者による講義、学校の保有する保育施設(子育て支援センター)における実習、により構成

- ・専門知識・技術のブラッシュアップ(8回)
(例)子どもの生活習慣の指導、子どもの発達と保育等
- ・様々な保育現場の理解(3回)
(例)市の保育の状況、保育ボランティアの仕事等
- ・子育て支援センター(保育施設)での実習(4回)

○実施体制

市の保育担当部署の職員、幼稚園・保育園関係者、ボランティア団体、商工会議所、人材派遣会社等を構成員とした協力会議を設置。また、学内に「再チャレンジ学習支援サポートセンター」を設け、専任教員(平成20年度は25名)と事務職員を配置。

○講座終了後の対応

受講者は、講義・実習の成果を「ブラッシュアップノート」に記し、学習記録として累積する。プログラム終了後、これを総合的に評価し、出席要件等を満たした者に修了証を授与。
また、受講修了者に対しては、市で募集する非常勤の保育士や派遣会社等の就職に関する関連情報を提供している。

【日本女子大学】

大学卒業後就職し、育児や夫の転勤、進路変更などで離職した女性に、再就職に必要な英語、ITスキル、ビジネス知識を習得させるリカレント教育の実施と、再就職先を斡旋する取組

○対象者：4年制大学を卒業して就職後、一旦離職し、職業への復帰を望む女性(年間60名(各学期30人入学))

○期間：1年間(315時間必修)

○プログラム構成

- ・書類審査および簡単な英語とPC入力速度のテスト
- ・キャリア開発論 I および必修科目7科目、選択必修科目7科目の合計14科目(28単位)の修了とインターンシップの実施
- ・当課程修了者限定の求人情報を載せたウェブサイトによる再就職の斡旋(就職希望者の就職率100%(非常勤含む))

【リカレント教育課程 カリキュラム一覧(2008～2009)】

科目群	科目名	科目名	科目名
キャリア開発論 I (無単位)	英語特訓A-1	必修	キャリア開発論 II
	英語特訓A-2	必修	選択英語(ビジネス英語 II)
	英語特訓B-1	必修	企業会計入門
	英語特訓B-2	必修	税法入門
キャリア・スキル科目群	ITリテラシー科目	必修	金融リテラシー
	初級		<(特)平代田テラクル寄付講座> 地球環境とエネルギー産業
	上級A		現代企業と人的資源管理
キャリア形成科目群	上級B		労働保険と社会保険 (社会保険労務工学論講座)
	消費生活アドバイザー準備講座 I		消費生活アドバイザー準備講座 II
	公認内部監査人準備講座 I		公認内部監査人準備講座 II
	公認内部監査人準備講座 II		NPO/NGO
	現代ビジネスと起業		産業界の事情と働き方 I (流通産業)
	産業界の事情と働き方 I (流通産業)		産業界の事情と働き方 II (ファッション産業)
	産業界の事情と働き方 II (ファッション産業)		国際ボランティア論
	ライフステージと法		ライフステージと法
	インターンシップ		インターンシップ
	選択必修		選択必修

学校から社会・職業へ生活が移行した後の学習者に対する支援

【東京大学・筑波大学】

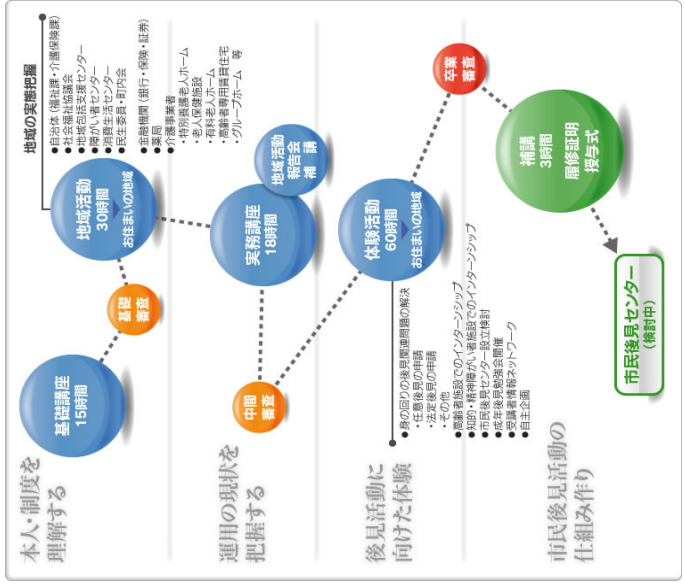
金融・住宅・医療など後見業務に関連する業界を退職した元気なシニア、介護や子育ての経験を持つ主婦を主な対象に、市民後見人養成講座を実施するとともに、福祉型信託の概念を活用し、修了者の後見活動を総合的に支援する取組

- 対象者：一般中高年、親族後見人、学生、法人等
- 期間：126時間(約10か月)

○プログラム構成

基礎講座(15時間)→審査→地域資源の把握活動(30時間)
 →実務講座(18時間)→審査→体験活動(60時間)→審査
 →講義(3時間)→修了

- 受講者
年齢：平均60歳前後
男女比：男4、女6
- 実施体制
大学教授、実務家
(司法書士、弁護士
NPO法人等)、
市民、事務局、
運営サポーター等



- 受講後の状況
履修証明書を発行
(既に家庭裁判所より
後見人として数件
選任され始めている
状況)

【静岡県立大学短期大学部】

離職している保育士または看護師に、ホスピタル・プレイ・スペースリスト(以下HPS)の理念、役割や技術を教授し、「子どもの福祉」の視点から病児を理解し、支援することのできる高い能力を持ったコメディカルスタッフとしてのHPSを養成する取組

- 対象者：保育士または看護師の資格を有し、保育または医療現場等で実務経験があり、現在離職中であること。実習を含め、全日程を受講できること。(10人程度)

- 期間：30日間(原則1時限90分、1日5限)

○プログラム構成

- ①現在の小児医療の現状とコメディカルスタッフの役割について
- ②HPSが病児の治療にかかわる理念、目的、方法などの学び
- ③発達年齢に応じた遊びの展開と技術に関する演習
- ④個別の遊びプログラムの策定や、地域に対する働きなど今後
の方向性に関する学び
- ⑤HPS実習

○講座終了後

養成講座修了者には、学校教育法および静岡県立大学短期大学部学則に基づく履修証明書及び、HPS Japan資格認定書を交付
 (離職している修了生の約64%が再就職)

- 実施体制・・・他大学(外部講師)や実習先として病院等と連携

※HPS「ホスピタル・プレイ・スペースリスト」とは、遊びを用いて病児を支援する専門職

学校から社会・職業へ生活が移行した後の学習者に対する支援

【明石工業高等専門学校】

企業等に就職した後、結婚・出産等の事情により、一旦家庭に入った女性を対象に①これまでCADを操作した経験はない女性を対象とした初心者コースと②CAD技能の再習得をめざした経験者コースにより女性の社会復帰を実現しようとする取組

○講座対象

- ①初心者コース……CADソフトの使用経験はないが、コンピュータに関する基礎知識を有し、一般的なワープロや表計算ソフト等の操作が可能な女性
- ②経験者コース……大学、短期大学または高等専門学校等の機械・建築・土木系の学科を卒業した女性、あるいは企業等でCADの実務経験がある女性

○プログラム構成

- ①初心者コース……基本操作、作図練習、編集練習等 全15回、各回1.5時間、総計22.5時間
- ②経験者コース……作図実習、課題作成、試験対策等 全15回、各回2時間、総計30時間

○講座終了後

履修証明書の発行

○実施体制

明石高専教員、職員、非常勤講師、ティーチング・アシスタント
ハローワークとの連携

○修了者の状況

平成20年度修了者については、自己啓発、資格受験の者、再就職活動中の者が多い。平成19年度修了者には、CAD利用技術者2級資格に合格した者、市役所(建築職)に経験者採用枠で採用された者もいる。

【国際ビューティモード専門学校】

出産、子育てなどで一時職を離れた女性美容師に対し、カット、パーマ、ヘアカラーなどの「技術指導」と共に、キャリアカウンセリングを基本とした「就職指導」を行い、美容師としての再就職を支援する取組

○期間:4ヶ月間

(必須受講講座時間数 54時間(3時間×18日))

○プログラム構成

「技術指導講座」:「カット」については必須講座、他の技術講座「パーマ」、「ヘアカラー」、「メイクアップ」、「ネイル」については希望制

- ①「カット」:ベーシックテクニック 30h
- ②「パーマ」:各種ワインディング技法、ピンパーマ技法等 12h
- ③「ヘアカラー」:ベーシックテクニック及びホイルフーク等 12h
- ④「メイクアップ」:ベースメイクテクニック及びパーストレッスン 24h
- ⑤「ネイル」:ベーシックケアカラーとジェルネイル 24h

「就職指導講座」: 必須講座

「キャリアカウンセリング」:自己分析、ビジネスコミュニケーションスキル分析、アピールポイント及び志望動機の構築、面接指導等 24h

○講座終了後

必須講座修了者に講座独自の履修証明書の発行

現場復帰を阻んでいるものとして、次のことが判明

- ①ブランクにより技術力低下に対する不安
- ②求人や研修などの情報不足
- ③労働環境(通勤や託児所の問題)、雇用条件(勤務時間、有給休暇)への不安

学校から社会・職業へ生活が移行した後の学習者に対する支援

【関西健康・製菓専門学校】

失業者、フリーターやニートなどを対象に、夜間の時間を活用して『スイーツショップ』起業に向けての技術と知識の習得を目的としたプログラムの開発と実証講座を行う取組

○プログラム構成

①カリキュラムの開発

150日間、合計450時間に及ぶ講義のカリキュラムを構築
「製菓理論」：6時間、「製菓実習」：150時間、「コンピュータ実習」：135時間、「経営実践」：60時間、「原価管理」：90時間、「店舗見学」：9時間

②実証講座

7ヶ月(150日間)実施
「製菓理論と製菓実習」、「コンピュータ実習」、「経営実践と原価管理」の3分野について、実践的な内容を体系的に教育。「簿記」に関する講義では、簿記検定試験3級に向けた勉強も導入。

「製菓理論と製菓実習」

…製菓に必要な調理器具の説明、衛生に関する知識等を基礎から学ぶカリキュラム

「コンピュータ実習」

…Word、Excelの操作を基礎から学習

「経営実践と原価管理」

…マーケティング戦略の基礎を学習

○講座終了後

学校独自の修了証書の発行

○実施体制

専門学校教職員の他、講座実施においては会計事務所や民間企業と連携

学校から社会・職業へ生活が移行した後の学習者に対する支援

【東京工業大学】

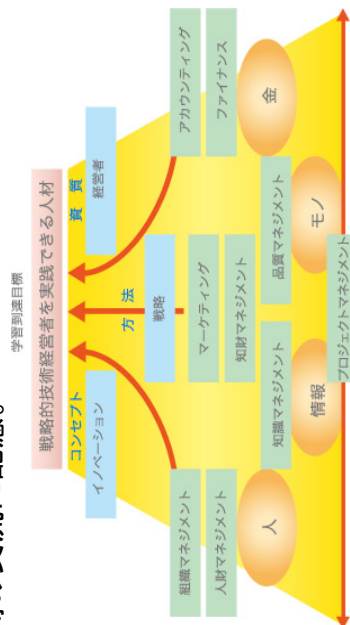
関東圏の中堅企業／中小企業に勤務する35歳前後の社会人が技術経営(MOT)を学び、自社における経営層へのキャリアアップを図るための学習機会を提供する取組

○対象者：関東圏の主に中堅企業／中小企業に勤務する次世代の企業経営を担う社会人(平成20年度実績17名修了)

○期間：1年間(週1回、水曜(全45回)1.5時間)

○プログラム構成

「講義&演習」、「グループ演習」により12科目で構成。学習内容は、中堅・中小の現場で活躍する人材像から「実務的な視点」を意識。グループワークを通じた交流など、多様な企業から参加する受講生間の交流に配慮。



○講座終了後
修了証書の授与

○実施体制

プログラムに対する客観的評価や改善のための意見をもらう目的に、(独)メディア教育開発センター、商工会議所、民間企業の委員で構成されたアドバイザリーボードを設置

【香蘭女子短期大学】

アパレル産業従事者とニート・フリーター・再就職希望者を対象とした再チャレンジ支援のための教育プログラム。同時に「市場の変化に適應する高度な技術」に資する取組として、人材能力の向上化、活性化を図る取組

○プログラム構成

立体裁断・CAD・平面パターンの3講座に上級・中級・初級のレベルを設置

・初級講座(4月～2月)・・・30回講座(夜間)

・中級講座(4月～9月)・・・10回講座(土曜、日曜)

・上級講座(10月～2月)・・・6回講座(日曜、CADのみ10回)

○受講生の状況等

・初級講座・・・受講生は企業関係者(過半数以上)、学生等
学習時間は、現場の仕事が続けながら、最終的にアパレル業界へのトラバースができるよう、夜間に設定

・中級講座・・・受講生は、企業関係者(過半数)、教育関係者等
土曜講座と日曜講座を比較すると、日曜講座の方が出席率が高く、土曜は職場の都合で欠席せざるを得ない状況が多い

・上級講座・・・受講生は企業関係者、教育関係者等
上級プログラムは、中級プログラムを修了していることが受講の条件

○講座終了後
履修証明書、修了証書の授与

○実施体制

学校運営組織、商工会議所、日本アパレル産業協会(福岡)

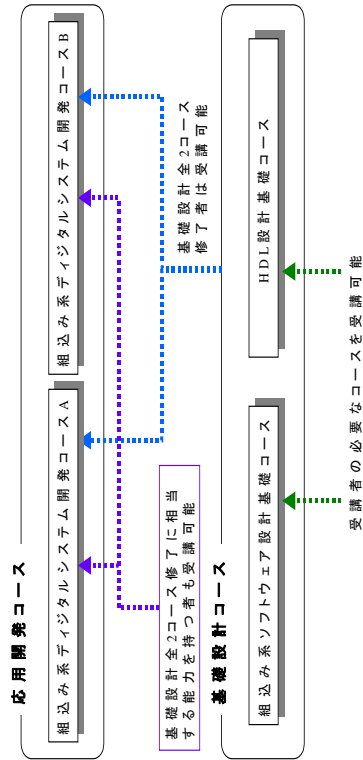
学校から社会・職業へ生活が移行した後の学習者に対する支援

【仙台電波工業高等専門学校】

キャリアアップを考えているハードウェア設計技術者や組み込みソフトウェア技術者、これから組み込み系業界へ就職・転職を目指す工学系学校卒業生等を対象に組み込み系デジタルシステム設計技術を習得することを目的とする取組

○プログラム構成

- ・組み込み系ソフトウェア設計基礎コース(設計基礎A)
- ・ハードウェア記述言語(HDL)設計基礎コース(設計基礎B)
- ・組み込み系デジタルシステム開発コースA(応用開発A)
- ・組み込み系デジタルシステム開発コースB(応用開発B)



※eラーニングにより自宅等でも受講、テスト、演習が可能

○期間:

- ・設計基礎A、B: 講義実習12時間(1日3時間×2回+1日6時間)+eラーニング学習18時間
- ・応用開発A: 講義実習12時間(1日4時間×3回)+eラーニング学習18時間
- ・応用開発B: 講義実習24時間(1日6時間×4回)+eラーニング学習16時間

○講座終了後 履修証明の発行

【中央情報経理専門学校】

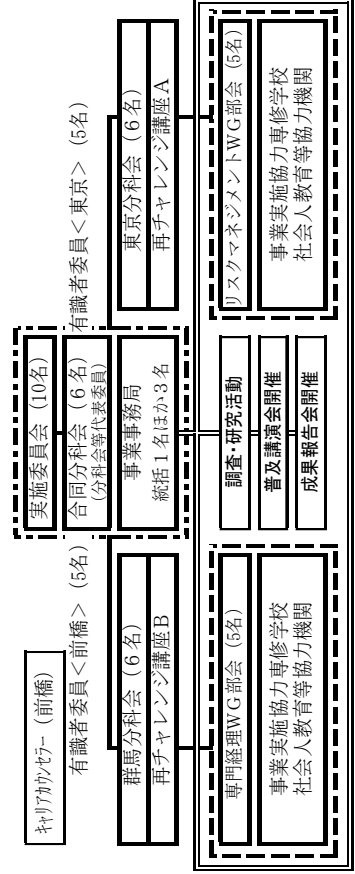
再就職を目指す社会人(若年早期離職者)向けに『実践型経理人材』の高度人材を育成する教育プログラムを構築して、再チャレンジを目指した就業を支援する取組

○プログラム構成

- ・教育プログラムの開発(教材の編集:150時間分)
 <PART1 実践経理>
 経理の基本、経理業務の基礎、財務会計の概要(主な勘定科目)、管理会計の基礎、計算実務、IT経理実務、税務会計(電子申告)、決算事務(決算の作り方・読み方)
 <PART2 経営管理>
 経営管理(専門知識)ガイダンス、経理財務サービススキルスタンダードの紹介、財務管理&債権管理、経済金融&リスク管理、戦略財務&会計基準(管理会計の要点)、企業会計&財務統制(統制と制御「内部統制」)の各編

- ・社会人向けに「公開講座」を30講座開講
 150時間の教育体系から90時間を開講(1講座3時間)
 講座の効果測定として、経理・財務スキル検定を活用

○実施体制



進路が決まっていない新規高等学校卒業生に対し、 教育機関を活用して職業教育の場を提供している例

● 職業学科を設置する高等学校等の実習補助など教育機関における雇用機会の創出

【取組例】 新規高卒未就職者対策事業「トライアル22」

- (1) 実施機関：宮城県教育庁高校教育課
- (2) 目的：① 社会人・職業人としての必要な知識、技能、態度の習得を図る。
② 新規高卒者の就職促進を目指す。
- (3) 対象者：① 平成22年3月 県内の高等学校卒業生（卒業予定者を含む）
② 就職を希望し応募時点で未内定の者
- (4) 実施内容・実施期間
 - ・ 新規高卒未就職者を県立学校の業務補助員及び事務補助員として採用し、各種の業務経験(※)を積む。
勤務日以外の週1日は、就職活動として就職支援プログラム(セミナー・スキルアップ講座等全13回)を実施。
- (5) 実施期間：平成22年4月1日～9月30日(6か月間) (※任期中で就職が決定した場合などはこの限りではない。)
- (6) 実施規模：採用予定人員 200人程度
- (7) 実施会場：県立高校、県立特別支援学校
- (8) 実施条件：・勤務日数 週4日(1日7時間30分勤務、週30時間)
 - ・賃金 日給 5,400円 (※通勤手当は別途支給要領により支給。その他手当なし。)

※各種の業務経験

県立高校の事務補助、「情報」や「家庭」などの授業における実習の業務補助、県立特別支援学校の事業等における業務補助

中途退学者や無業者などのキャリア形成のための支援

【武蔵野大学】

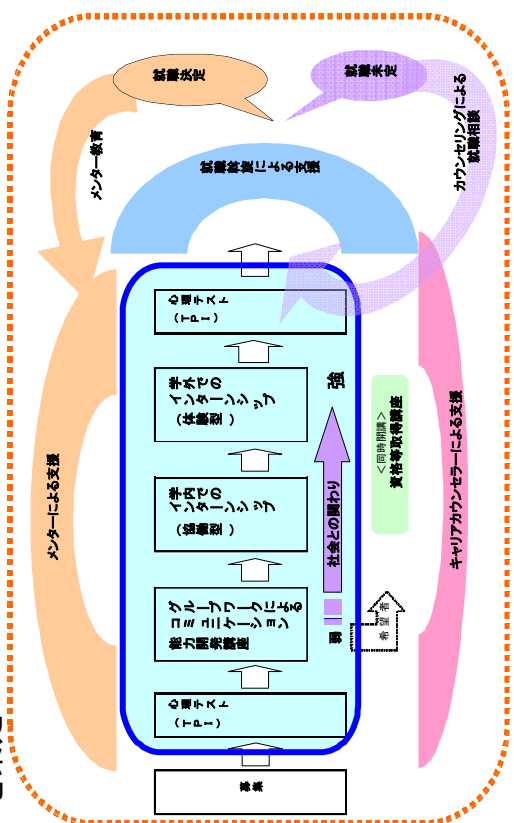
就職の希望を持ちながら大学卒業時に無業であった若年者に対し、大学のキャリア開発科目を体系化した「コミュニケーション能力開発プログラム」の提供及びキャリアコンサルタントによる就職相談などの支援を行う取組

- 対象者：大学卒業後、現在仕事をしていない者（14名程度）
（特に自己肯定感や対人関係に課題を抱える者を対象）
- 期間：約半年（教育プログラム（4ヶ月）、就職支援（2ヶ月～））

○プログラム構成

- ・自己理解（心理テスト(TPI)を活用した自己理解ワーク）
- ・グループワークによるコミュニケーション能力開発講座
（心理的に安全な「場」を構築するワーク、業界分析、社会人として必要な基本知識とスキルの修得、野外における協働・コミュニケーションの実践型体験学習）
- ・インタビューシブ（協働型・体験型）
（社会との関わりを段階的に広げていくプログラムの実施）
- ・フォローアップ・プログラム

自身の行動や意識の変化を共有し、自身のアクションプランを策定

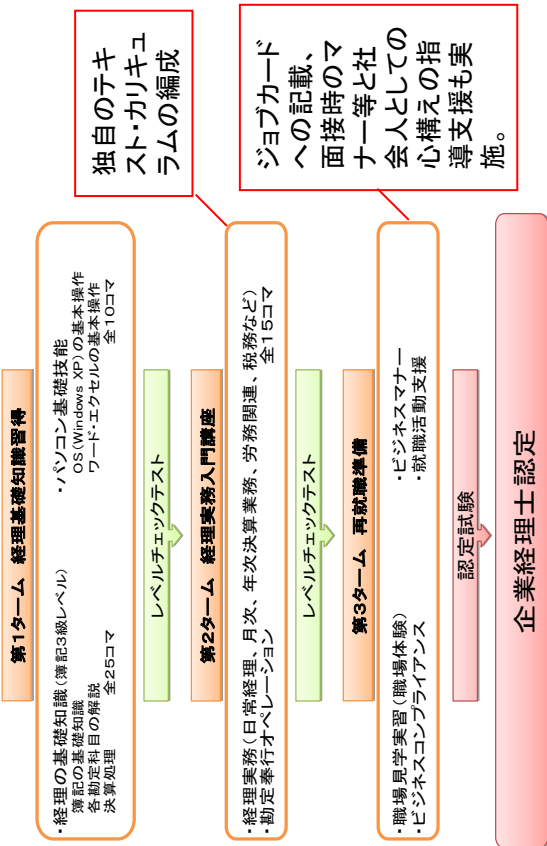


【東京富士大学短期大学部】

経験重視の採用が中心である中で、専門職として求められる即戦力としての経理スキルを体系的に修得できる独自の教育プログラムの提供及び就職支援を行う取組

- 対象者：経理職種を希望して、就業中断からの復帰を目指す女性や、ニート・フリーター等の定職を持たない若年者層（25名）
- 期間：6ヶ月間
- プログラム構成
 - ・第1ターム：簿記3級レベルの知識と経理業務に必要なパソコンソフト(ワード、エクセル)の基本操作の修得
 - ・第2ターム：会社の業務フローに基づく経理実務の学習、実際に使われている会計ソフトの使用
 - ・第3ターム：職場見学実習による現場実務の把握。コンプライアンス、ビジネスマナーについての学習。

経理実務者養成プログラムの流れ



中途退学者や無業者などのキャリア形成のための支援

【府内学園】

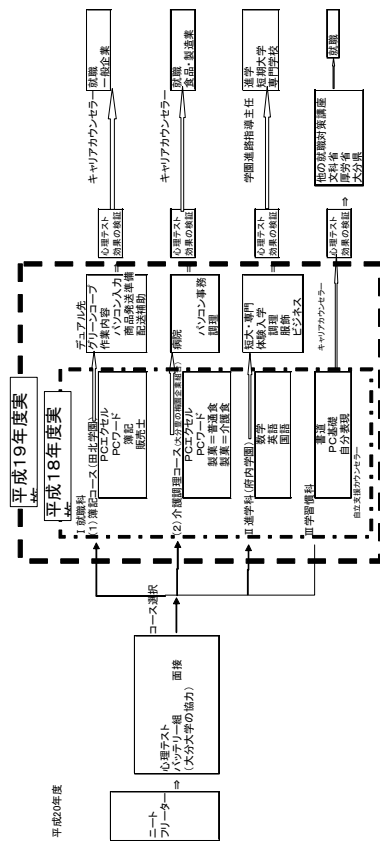
進学及び就職といった目的別の講座の実施と、NPOなどの関連団体と連携した受講者のケア及び就職支援を行う取組

○対象者：18～35歳程度の定職・学籍を持たない若者（約40名）

○プログラム構成

- ①対人関係に苦手意識を持たない商業系統の就職希望者
→ 簿記コース（販売士、簿記3級、CS検定3級・2級）
- ②対人関係が苦手、生活の糧となる技術を身につけたい者
→ 製菓コース
- ③スキルアップと高い理想を持つ者
→ 進学科（国語、数学、英語、その他＝入試対策）
高卒認定試験、短大・専門学校入試を視野
- ④長いニート生活で学習に慣れていない者
→ PC基礎、書道、自分表現（演劇）講座

※受講履歴はジヨブカードに記載



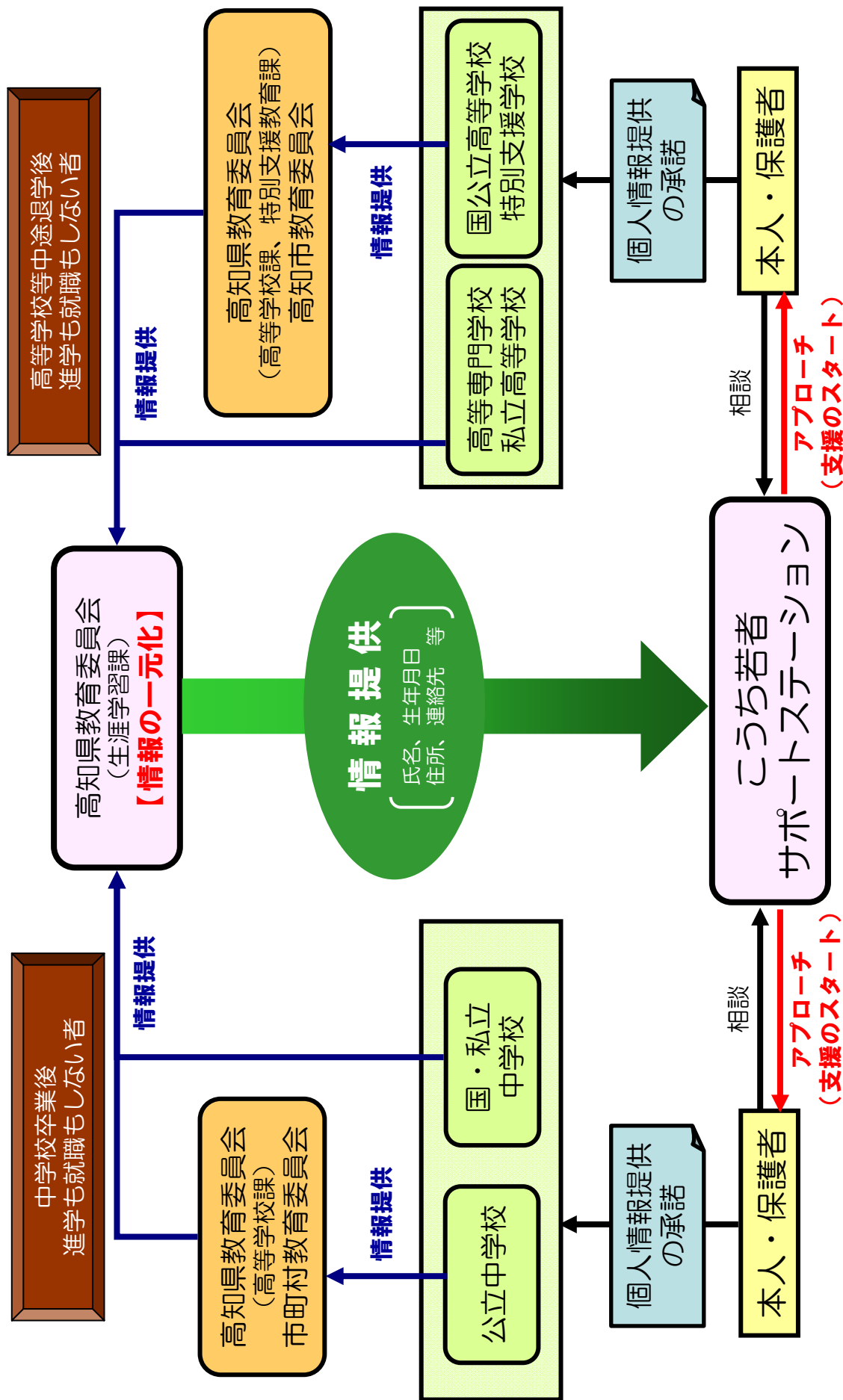
○関係団体との連携

大分大学、大分県、ハローワーク、大分県社会福祉士会、大分県商工会議所、大分青年会議所、NPO団体による連絡協議会を構成し、各種支援を実施。
(ex. 支援を要する若者の紹介、臨床心理士の派遣、就職支援など)

※CS検定：コンピュータサービス技能評価試験のこと。

学校・教育委員会と地域若者サポートステーションが連携している例～高知県「若者はばたけネット」～

- 中学校卒業時、高等学校等中途退学時に、進学も就職もしない者に対し、学校教育からの切れ目のない支援を行うために、対象者の情報を一元化するための関係機関の情報ネットワーク組織（「若者はばたけネット」）を、高知県教育委員会が中心となって構築。



(出典) 高知県教育委員会ホームページ (<http://www.pref.kochi.lg.jp/~syakai/shohgai/jigyou/2-1-1.html>) 等より作成

図書館において職業に関する情報を提供している例

鳥取県立図書館 働く気持ち応援コーナー



- 平成22年3月12日に設置された常設コーナー
- 蔵書数 数800冊
- 蔵書のテーマ 全26種類
職業紹介、業界情報、メンタルヘルス、ビジネスマナー、面接小論文対策、資格取得 など
- 「働く気持ち応援セミナー」の開催（地域の雇用創出に関する講演）など、関連イベントも実施している。

（ホームページより）

鳥取県立図書館では、現在の不況や厳しい雇用問題でお困りの県民の皆様をサポートするため、新しく「働く気持ち応援コーナー」を開設しました。労働問題、資格取得、ビジネスマナー、業界情報、就職・転職・研修・講習会案内、求人情報、メンタルケア等、関係する各分野の図書やパンフレットを一ヶ所にまとめて配架し、必要な情報をワンストップで提供します。

（出典）鳥取県立図書館ホームページ（<http://www.library.pref.tottori.jp/index.html>）等より作成

広島県立図書館 「図書館はあなたの就職活動を応援します」

○webページ「図書館はあなたの就職活動を応援します」を設置し、図書館内にある関係資料の一覧や就職支援機関へのリンク集を作成。（平成22年3月24日現在）

[トップページ](#) > [ビジネス支援](#) > 就職活動

図書館はあなたの就職活動を応援します。

図書館にある様々な資料を、あなたの就職活動に役立ててください。

企業・業界研究に	就職情報誌
★各種データベース	試験対策・自分を磨く
★企業・会社の情報を知るための図書	就職活動
★CSR報告書・環境報告書	仕事・職業・資格
★ビジネス雑誌	働く・労働
★新聞	就職支援情報、支援機関（リンク集）
	ヤングアダルトハローワーク（若い方のために）

○ヤングアダルト向けに、職業体験記などが書かれたwebページや関連コーナーを作成。



（出典）広島県立図書館ホームページ（<http://www.hplibra.pref.hiroshima.jp/>）等より作成

協議会等の設置により、キャリア教育・職業教育を円滑に進めている例 ①

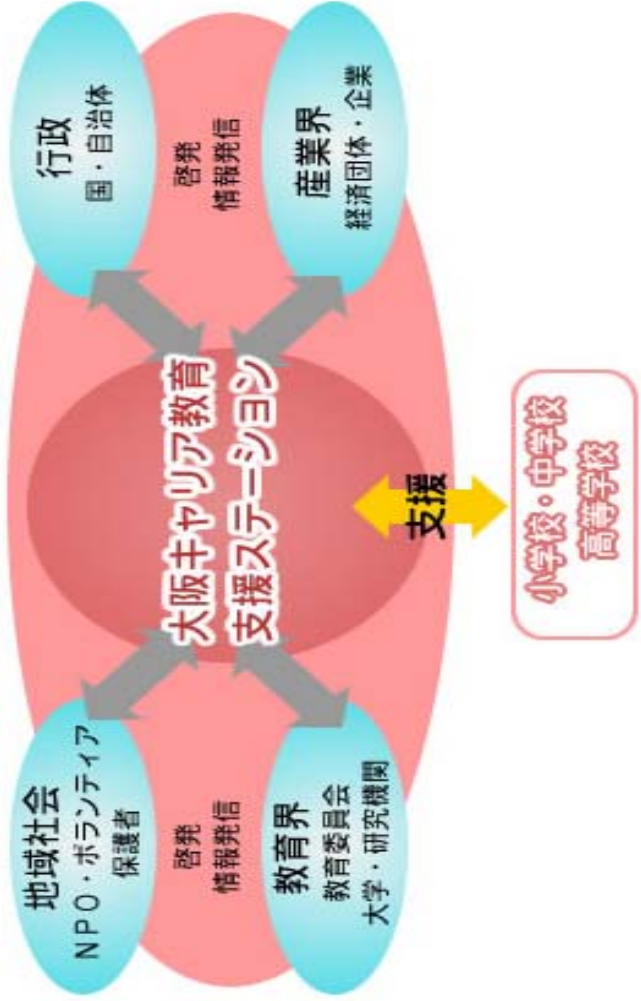
～ 大阪キャリア教育支援ステーション ～

- 教育現場のニーズ、要望に応え、学校外からの支援、協力をワンストップで提供。
- キャリア教育に関する調査、研究への協力、社会的気運の醸成など、大阪におけるキャリア教育の推進を各方面から支援。

活動内容

- ◇ 教育現場に役立つ学外からの支援
(社会人講師の派遣、施設見学、職場見学、職場体験学習・インターンシップなどの受入先の紹介、キャリアカウンセラーの派遣)
- ◇ 教員の知識・技能の向上への支援
(教員研修の支援、教員の企業研修先の紹介)
- ◇ 大阪独自のキャリア教育プログラム・教材の開発
(小・中・高一貫した全体モデルづくりへの支援、独自の個別プログラム・教材の開発、全国・海外の情報収集と紹介)
- ◇ キャリア教育についての調査、研究への支援、協力
(実践プログラムの効果検証、キャリア教育に関する研究への協力)
- ◇ 保護者、地域社会、産業界に対する啓発
(キャリア教育の意義・効果についての理解促進、キャリア教育の支援活動への参画促進)

「連携」を活かしたキャリア教育支援



大阪キャリア教育支援拠点運営協議会

【役員等団体・機関】

- 会長 大阪商工会議所
副会長 大阪府教育委員会 ・ 大阪市教育委員会
理事 大阪府都市教育長協議会
大阪府町村教育長会
大阪私立中学校高等学校連合会
大阪府PTA協議会 ・ 大阪市PTA協議会
財団法人大阪労働協会 ・ NPO法人Jae
社団法人関西経済連合会
社団法人関西経済同友会
関西経業者協会 ・ 大阪商工会議所
大阪府 ・ 大阪市 ・ 社団法人関西経済連合会
社団法人関西経済同友会 ・ 関西経業者協会
オズバーバー
近畿経済産業局 ・ 大阪労働局
(独)雇用・能力開発機構大阪センター

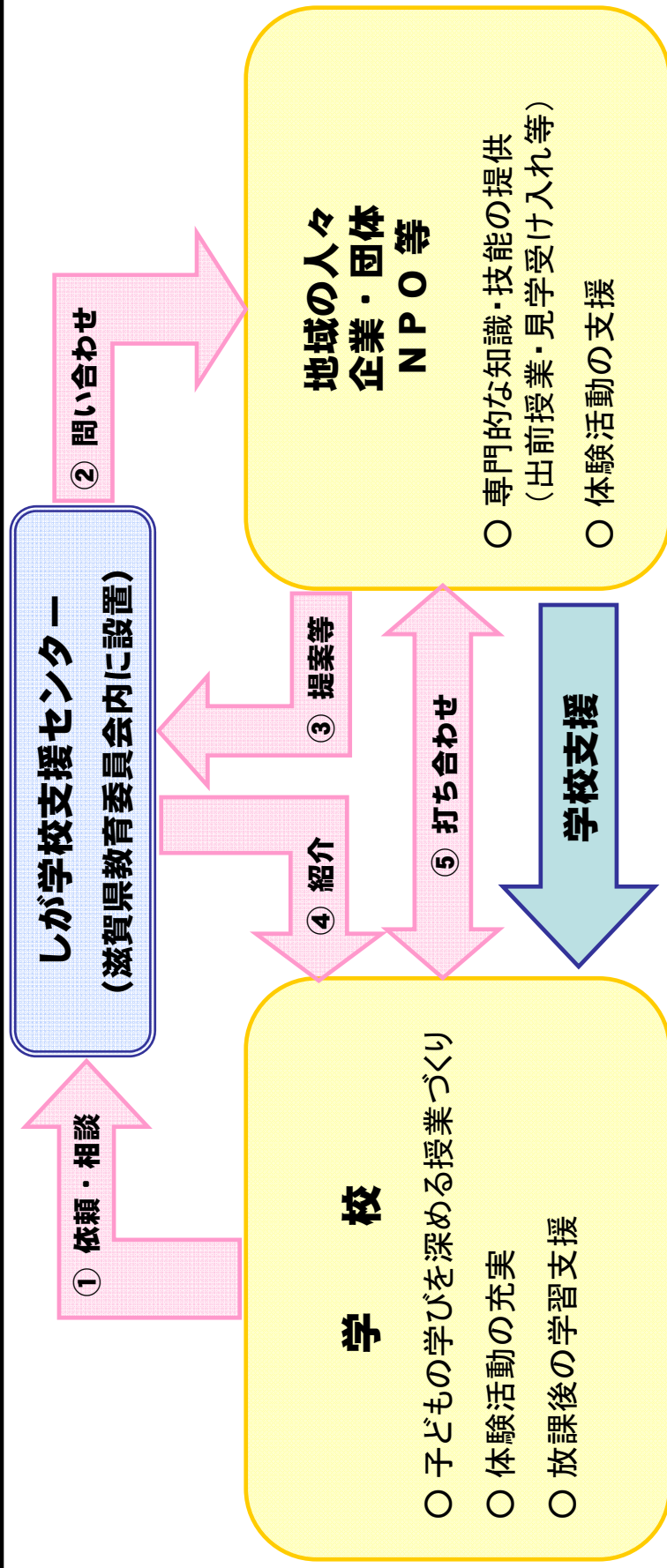
協議会等の設置により、キャリア教育・職業教育を円滑に進めている例 ②

～しが学校支援センター～

● 地域の人々や企業・団体・NPO等(支援者)が学校を支援する仕組みづくりの推進

活動内容

- ◇ 学校支援ディレクターの配置
(学校と支援者をコーディネート…「学校支援メニュー」一覧の作成(情報収集・発信)、相談・助言・調査)
- ◇ 「しが学校支援センター」連絡会の開催(支援者間の情報交換、ネットワークづくり)
- ◇ 「学校支援メニューフェア」の開催
(企業・団体などが教員に対して出前授業や見学受入等を行うメニューを紹介)
- ◇ 学校と地域を結ぶコーディネート担当者の新任研修を開催
(子どもたちが豊かな体験活動を通して学習できるよう、地域との連携を進める教員の養成)
- ◇ 学校支援地域本部事業との連携



(出典) 滋賀県教育委員会「しが学習支援センター」リーフレット等より作成